

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成23年
1月1日
発行
第211号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 渡辺 智恵

平成22年度 第三回中央委員会開催 — 次年度運動方針案や 週休二日制等を審議 —

十二月十二日、十三日の両日、九州の玄関口福岡県の福岡市「チサンホテル博多」において、平成二十二年度第三回中央委員会が開催された。会議には全国加盟組より中央委員及びオブザーバー等八名の参加のもと、議題の平成二十三年度運動方針案や要求書案、予算案のほか、週休二日制の完全実施等について慎重な審議が行われた。

会議は開会のことばの後、給与がマイナス〇・三％に資格審査・成立確認が行われ、議長に薄井啓一郎氏(大田原日赤)、副議長に河崎勝自氏(福井血七)、書記に柏裕輔氏(三原日赤)が選出された。審議に先立ち山田中央執行委員長が挨拶に立ち、次年度の給与改定を整理してみると、平均で基準内保障は確保したものの、「定

給与がマイナス〇・三％、期昇給があっても給与は上がらない。高年齢職員の労働条件改善が課題となってきた。また、我が国経済の基調判断として、内閣府発表の月例経済報告では「景気は緩やかな回復傾向を維持している。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある」としている。このことから足踏み状態となっており、日本赤十字社をリードしていくものと考えられている。その第一歩は、この中央委員会の中心議題でもある。

次年度の要求書について審議することから始まる。中央委員を中心に参加者全員での慎重審議をお願いしたい。」

報告事項

- 一、各部報告
- 【組織部】
- 五・六ブロック施設の介護士の職員と懇談会開催
- 結成五〇周年記念ファイルの活用について
- 【教宣部】
- 初心者研修会の開催
- 年末手当交渉のための宣伝チラシ等の作成
- 【調査部】
- 平成二十二年度調査結果の集計・発送
- 年末一時金等の調査実施
- 一般経過報告
- 平成二十二年度給与改定の交渉経過を中心に、資料にそって報告が行われた。

審議事項

- 一、平成二十三年度運動方針案について
- 各ブロック会議等で検討された修正箇所について審議が行われ、一部修正の後賛成多数で承認された。なお、従来どおり、今後の国内外の動きや諸集計結果に对应して、一部については定期大会までに修正することが了承された。スローガン、闘争方針案も原案通りで承認された。
- 二、要求書案について
- 基本賃金の引上げについては、賛成多数で定率込み三・〇％(一万円)と決定され、諸手当等について一部修正の後、賛成多数で承認された。
- 三、予算案について
- 引き付けます。熱意をもって誠実に活動を継続していき、一生懸命さが今日に至るまで発揮されています。『継続は力なり』。かの吉田松陰は「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、成功なき者に健康なし」と説きました。日赤新労も夢を追求し、現実に向けて活動を継続していかねばなりません。夢実現に向けて多に組合を語り合ひましょう。
- 本年も日赤新労をよろしくお願ひいたします。
- 最後に組合員の皆様並びに単組の皆さまの躍進を心より祈念して、年頭のご挨拶といたします。
- 平成二十三年 元旦

第50回 定期全国大会案内



○平成23年2月19日(土)~21日(日)
○三重県伊勢市吹上1-11-31
「伊勢シティホテル」

年頭にあたって

中央執行委員長
山田 隆 幸



謹んで新年のご祝辞を申し上げます。組合員の皆様にはご家族様と共に幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。年頭にあたりご挨拶申し上げます。あなたは初夢をみましたか？初夢の内容で一年の吉凶を占うということですが、字義どおりに新年最初に見る夢とされることは少なく、元日から二日の夜、または二日から三日の夜に見た夢とされるそうです。夢は夢にすぎないので、特に縁起が良い夢と云います。これが縁起の良い夢の筆頭になったのは、家康にあやかりたいということなのでしょう。また、この後には「四扇(しせん)、五煙草(ごたばこ)、六座頭(ろくざとう)」と続くと言います。「扇・煙草・座頭は何かと聞けば、一扇は涼をとるだけでなく、祭礼や舞踊の小道具となる。煙草は酒とともに祭りの祝事など座の雰囲気盛り上げたり、和ませます。『祝』であり、『めでたさ』であり、これが縁起のよい理由となつて富士・鷹・茄子の次に挙げられたものらしいのです。いい夢を見て、画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、成功なき者に健康なし」と説きました。日赤新労も夢を追求し、現実に向けて活動を継続していかねばなりません。夢実現に向けて多に組合を語り合ひましょう。

本年も日赤新労をよろしくお願ひいたします。

最後に組合員の皆様並びに単組の皆さまの躍進を心より祈念して、年頭のご挨拶といたします。

平成二十三年 元旦



一氏(鳥取日赤)より役員
一、大会運営について
二、本部役員について
三、役員証書委員長の山本俊
四、本部役員について
五、大会運営について
六、その他

一、日赤新労の活動を重んじて
二、日赤新労も活動を重んじて
三、日赤新労も活動を重んじて
四、日赤新労も活動を重んじて
五、日赤新労も活動を重んじて
六、日赤新労も活動を重んじて

一、日赤新労の活動を重んじて
二、日赤新労も活動を重んじて
三、日赤新労も活動を重んじて
四、日赤新労も活動を重んじて
五、日赤新労も活動を重んじて
六、日赤新労も活動を重んじて



十月九日(土)、北九州は平成十一年度に福祉職市「小倉リーセントホテル」給表が新設され、国において、介護士の皆さんも、平成二十一年度の介に「参加をいただき、懇談会を開催しました。

介護職については、その需要が増大する中、日赤で分と言わざるを得ず、介護

職員を取り巻く諸問題の解決は喫緊の課題となっています。また、ここ最近新聞紙上でも、低賃金や劣悪な労働環境、職離れ等介護職に関する話題が数多く取り上げられており、世間の関心も高くなっています。

懇談会では、現場で働く皆さんの生の声を聞かせていただき、参加者の方々が日々業務に奮闘し、介護サービスの維持・向上に取り組む一方で、せつかく「介護職員処遇改善交付金」があっても活かされていない現状や、人員配置の問題、マンパワー不足や看護と介護の線引き等、問題点がみえてきました。

介護士の皆さんがやりがいを持続しつづき続けるためには、職務がきちんと評価され労働環境が整備される必要があります。今後引き続き、このような話し合いの機会を設けて、情報交換をする中で問題点を引き出し、介護士の処遇改善に向けて活動を行っていきたいと思います。

(女性部部长・秋友信男)

介護士の皆さんと懇談会を開催

懇談会を開催



皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます



2011 元旦

プロック初心者研修会

平城遷都千三百年祭 歴史・文化を体験

十月三十日(土)、第三プロックの初心者研修会が開催されました。今年度の初心者研修は、平城遷都千三百年祭で賑わう奈良県平城京見学が企画され、バスでの移動中に、新規に組合員になっていただいたフレッシュな若者たちに「労働組合とは」と「給与のあらまし」について話をさせて頂きました。私自身、また新人の本部役員なので、説明が十分にできていなかったにもかかわらず、まじめに話を聞いていただきありがとうございました。奈良に到着して、まず懇親会を兼ねた食事会が行われ、お腹が十分満たされたところで、いよいよ平城京

の散策となりました。ちょうどその日は季節外れの台風が北上中でしたので、とても雨に降られるのではと心配しましたが、組合員の心がけが良かったせいか、雨が降ることもなく平城京の見学を楽しむことができました。

平城京と言えば、「南都(七二〇)きれいな平城京」と語呂合わせで年号を覚えていた記憶がありますが、七二〇年に藤原京から平城京へ遷都が行われて、今年が確かに千三百年になる記念の年なんだあと、学生時代の知識を振り絞りますが、復元された建物と建物内の展示物を順番に見て歩きました。



広大な敷地に点々と朱棹門や大極殿正殿などが復元されており、建物を見ながら会場内を歩き回ったのですが、普段運動をしない私には少々堪えました。見学の時間内に平城遷都千三百年祭会場をすべて回ることはできませんでしたが、非常に充実した見学をするこ

車の安全運転講習 岡山国際サーキット場にて

—岡山赤十字病院職員組合—

十一月二十七・二十八日の二日間、五プロックの組合研修に参加しました。一日目は、岡山国際サーキット場で車の安全運転講習の間でもありました。

十一月二十七・二十八日の二日間、五プロックの組合研修に参加しました。一日目は、岡山国際サーキット場で車の安全運転講習の間でもありました。

同乗者は初めて会った方々で、最初はその緊張感も盛り上がり、楽しく覚えることができましたが、車内には連日講習を受けました。最初に座学があり、車内の正しい姿勢について教わり、その後四台の車に分乗して実技を行いました。

濡れた路面上で時速四〇キロからのフルブレーキングに始まり、一回毎に一〇キロずつスピードを上げ、最後には時速七〇キロの体験をしました。普段は急ブレーキをかけることなどほとんどないため、初めは怖かったのですが、二回目・三回目になるにつれて出来るようになってきました。しかし普段の生活の中では「絶対したくないな」と思い、安全運転を心掛けようと思った瞬間でもありました。



同乗者は初めて会った方々で、最初はその緊張感も盛り上がり、楽しく覚えることができました。この研修に参加して多くの方と話をすることができ、様々な年齢や職種の方が抱えている職場の問題や考えを知ることができて良かったと思います。自分たちに与えられている環境が当たり前の前と比べると、環境の改善を受けました。「組合員としての責任」を自覚し、自分たちが出来ることを実践してまいります。自分たちに与えられている環境が当たり前の前と比べると、環境の改善を受けました。「組合員としての責任」を自覚し、自分たちが出来ることを実践してまいります。

ピンゴゲームで大当たり 「ひとめぼれ」GET!

12月12日(土)の第3回中央委員会懇親会で、本部企画によるピンゴゲーム大会が行われた。これは、今年度の加盟上部団体別組合員数で日赤新労が前年度より200人以上の組合員を増やし、結成以来初めて筆頭組合になったことへの感謝の気持ちから本部が企画したもので、役員各自が景品を提供し、組合員の皆さんと共に喜びを分かち合った。

一条中央執行委員の司会進行のもと、並べられた景品に興味注がれる中で、「リーチ!」「ピンゴ!」の掛け声とともにゲームは盛り上がり、終番、「ひとめぼれ」玄米30キロが登場。それまでピンゴしなかった参加者でじゃんけん大会が行われ、見事、浜松日赤の半場公義さんが獲得した。また、空クジなしということで、外れた参加者にはもれなく「栃木のレモン牛乳」が配られた。

○「ひとめぼれ」獲得者、半場公義さんのコメント
楽しいピンゴ大会が繰り広げられる中、私は最後までピンゴしなかったわけですが、最後の最後に思わぬ賞品が用意してあって、びっくりしました。それを見事じゃんけん大会で勝ち取ることができて、まさに九回裏ツーアウトで逆転ホームランを打った心境です。

宮城県産「ひとめぼれ」をモリモリ食べて、バリバリと組合活動を行っていきたいと思います。



「ひとめぼれ」最後はじゃんけん大会で

日赤新労五〇周年 記念式典及び祝賀会のご案内

日本赤十字新労働組合連合会は昭和三十六年九月に結成され、このたび五〇周年を迎えることになりました。これを記念して、平成二十三年二月十九日(土)、記念式典並びに祝賀会を開催いたします。

全国の日赤新労加盟単組の皆さん、日赤新労結成の地「伊勢」で単組の組合旗を掲げ、共に祝いましょう!

【記念式典】「伊勢市観光文化会館」
三重県伊勢市岩瀬一丁目三十一番五
【祝賀会】「伊勢シティホテル」
三重県伊勢市吹上二丁目一一三